

横浜市住生活マスタープラン（横浜市住生活基本計画）を改定しました

1 プランの概要

- ◇ 横浜市住生活マスタープラン(横浜市住生活基本計画)は、今後10年間の横浜市の住まいや住環境について目指すべき基本的な方向性を示すプランです。今後、本プランに基づき、横浜市の住宅政策を推進していきます。
- ◇ 「地域」「企業」「大学・専門家・NPO・中間支援組織」「行政・公的機関」など多様な主体がこの方向性を共有し、横浜らしい豊かな住生活の基盤となる住まいや住環境づくりを連携して進めていくことを目指します。



2 プランの期間

2022(令和4)年度から 2031(令和13)年度までの10年間

- ・プランの本編・概要版は、横浜市ウェブサイトにて公開しています。
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/jutaku/shiryo/keikaku/housdata.html>
- ・概要版は各区役所広報相談係にて配架しております。
また、本編冊子は、横浜建築局住宅政策課(横浜市庁舎24階)、横浜市市民情報センター(横浜市庁舎3階)にて閲覧できます。



横浜市ウェブサイト
「住宅政策に関する計画」

3 プランの「目指すべき将来像」(プラン本編 P17-19)

一人ひとりのライフスタイルに応じた豊かな暮らし方を選択できるまち よこはま
～横浜らしい多様な“地域特性”と多彩な“市民力”を生かして～

概要版に、市民一人ひとりが望む暮らし方が実現できる、将来像のイメージを描いています。

4 将来像の実現に向けた「3つの視点」「7つの目標」「4つの基本姿勢」(プラン本編 P20-23)

3つの視点		7つの目標	4つの基本姿勢			
社会環境の 変化	目標 1	新たなライフスタイルに対応し、多様なまちの魅力を生かした豊かな住宅地の形成	① ス ト ック の 活 用	② 多 分 野 の 連 携	③ 地 域 経 済 の 活 性 化	④ D の 推 進
	目標 2	災害に強く、安全な住まい・住宅地の形成と被災者の住まいの確保				
居住者・ コミュニティ	目標 3	多様な世帯が健康で安心して暮らせる住まい・コミュニティの形成				
	目標 4	住宅・福祉施策が一体となった重層的な住宅セーフティネットの充実				
住宅 ストック	目標 5	脱炭素社会の実現に向けた良質な住宅ストックの形成				
	目標 6	マンションの管理適正化・再生円滑化の推進				
	目標 7	総合的な空家等対策の推進				

お問合せ先

建築局住宅政策課長

松本 光司 Tel 045-671-2917